

第2回 Claude Code基礎操作 (調査・編集・実行)

Phase 0 | 下地づくり / 講義2h + ワークショップ6h

この回のねらい

- Claude Codeの「読む・書く・実行する」を体で覚える
- 既存コードへ小さな変更を安全に加えられるようにする
- 「曖昧指示で暴走 → Plan Mode で制御」を体験する

Claude Codeの動作モデル

理解 → 実装 → 実行 → 修正 → 検証 の自律ループ

3つの基本動作

1. ファイルを **読む**
2. ファイルを **書く / 編集する**
3. コマンドを **実行する**

良い指示 vs 悪い指示

- ✘ 「ログイン直して」
- ✔ 「ログインボタンを押すと500エラー。原因を調査し、修正方針を先に提示して」

文脈・現状・期待・制約 を含めるほど結果が安定する。

安全に使うための2つの鍵

- **権限モード**：削除・force push・本番接続など危険操作は必ず人が確認
- **Plan Mode**：いきなり実装させず、まず計画 → 承認 → 実行

AIの出力を **そのまま信じない**。必ず **差分 (diff)** を自分で読む。

ワークショップ (6h)

1. **調査** : 「この機能はどこ?」「処理の流れを説明して」
2. **小修正** : 文言変更・軽微なバグ修正 → diffをレビュー → 動作確認
3. **失敗体験** : 曖昧指示で暴走 → Plan Modeで制御し直す
4. **自分用の指示テンプレート**を作成

回のゴール

既存コードベースを調査し、
小さな変更をClaude Codeで安全に加えられる。

OJT課題：実務で小修正を1～2件実施し「うまくいった/暴走した指示」を記録